

令和8年度 第1回 県居小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年5月8日(金)10時20分から11時45分まで
- 2 開催場所 県居小学校 会議室
- 3 出席委員 本多 正明、早川 大介、中村 恵美子、稲垣 美世子、河村 恵子、仲道 有美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 県居協働センター 和田 祐哉、土戸 瞬熙
- 6 学校支援コーディネーター 黒田 雅美
- 7 学 校 鈴木彰一(校長)、北村のぞみ(教頭)、鈴木克幸(教務主任)、石崎慶子(CS ディレクター)
- 8 教育委員会 磯部 志保(学校・地域連携課)
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 石崎慶子

11 議長の選出

会長から本多委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく承認した。

12 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止基本方針について
- (3) 学校評価アンケートの項目について
- (4) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について

13 会議記録

司会の稲垣会長から、委員総数6人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

学校運営の基本方針について校長より説明があり、委員から、以下の発言があった。

・ランドデザインの「西部中学校区目指す子供の姿」について、西部中では昨年度廃止したとのこと。西部中に確認してもらえれば。(早川委員)

・ICT の活用について、まだピンとこない。文科省や教育委員会から ICT 教育の指針・ガイドラインのようなものは出ているのか?(本多委員)

→細かいものではないが、ガイドラインは出ている。(鈴木校長)

→ICT に対するイメージがぼんやりしている。ICT 活用に対して認識を統一していくべきではないか。(本多委員)

協議の結果、全員異議なくこれを確認した。

(2) いじめ防止基本方針について

いじめ防止基本方針について鈴木教務主任より説明があり、委員から以下の発言があった。

・年間計画において、2学期にオープン参観会とあるが、どの程度の周知されているのか?(河村委員)

→安全面のこともあり、地域に対して発信はしていない。祖父母含め、家族の範囲内である。(北村教頭)

協議の結果、いじめ防止基本方針について、共通理解が図れた。

(3) 学校評価アンケートの項目について

学校評価アンケートの項目案について、鈴木教務主任より説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・「結果の数値を見てもどう理解してよいかわかりにくいこと」を発端とし、アンケート項目について協議している。どういう項目、文言にしたら有効なアンケートと成りうるかを考えたい。10年分ほどのアンケート結果を AI に分析してもらい、というのも価値があるのでは。(本多委員)
- ・「和歌が役立っている」という質問について、保護者にはわかりにくい。「影響を与えている」などの文言はどうか。(中村委員)
- ・アンケートに回答している保護者は、このアンケートが学校運営協議会で活用されていることを理解した上で回答しているのだろうか。協議会の場での熟議に繋がっていることを保護者に理解してもらったほうが、もっと意見がもらえるのではないかと。(早川委員)
 - 熟議のためというよりは、学校教育活動に反映していくため、ということでアンケートを取っており、結果を学校だけで発信している。(北村教頭)
- ・学校での様子を問われているものがあり、保護者は参観会でくらいしか判断できない。昨年度の結果としても評価が低い。もっと具体的な文言であれば保護者が判断できると思う。(中村委員)
 - 数値化できるのは、できれば数値化してほしい。(本多委員)
- ・学校での様子について、家でしっかりと会話をできていないと回答が難しい設問があり、回答が難しいと思う。(中村委員)
- ・設問が唐突で回答しにくいものがある。設問は、学校独自で考えているものなのか。(黒田コーディネーター)
 - 学校ごとで考え、ランドデザインの内容が達成できているか、を設問としている。(北村教頭)
 - 訊きたいことを入力し、生成 AI に質問を考えてもらう、というのも参考になるのではないかと。(黒田コーディネーター)
- ・「話をしたことがある」という聞き方では、どの期間で問われているのかわかりにくい。(本多委員)
- ・設問を今までと大きく変えてしまうと、前回までの結果との比較ができなくなるため、比較ができるような変更となるようにする必要がある。

熟議の内容を受け、項目については学校側で検討を行うことで了承した。

(4) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について

夢育やらまいか事業に対する意見書について、北村教頭より説明があり、全員異議なく承認した。

オブザーバーより

- ・浜松市では、子ども政策に力を入れており、政策について様々な媒体で情報発信をしている。県居小においても、経営方針や県居のひびき、いじめ防止基本方針などを見守りや地域の方に浸透させていくために、A4 ポスターを作成するなど、協議会において検討していくとよいと思う。
- ・いじめに関する資料について、紙を破棄した後、データは残っていることがある。データの破棄についても意識していただきたい。
- ・和歌の掲示で協働センターを活用いただいているが、今後、放課後の小学生の居場所作り事業を推進していく。こちらもぜひ活用していただきたい。
- ・県居協働センター前の公園において、公園の外部分でのボール遊びが見られるため、注意喚起をお願いしたい。

14 報告

学校支援コーディネーターの仲道さんより、県居サポーターの活動報告があった。

5月12日にサポーター説明会を実施予定で、5月26日の草取りが今年度最初の活動となる。例年と同様、授業の補助がメインとなる。今年度は、水やりを休日にもできたらよいと考えている。5月10月の草取りは、民生委員にも協力をお願いして、地域の方々にも広くサポーターとして活動していただきたいと考えている。

学校支援コーディネーターの黒田さんより、図書ボランティアの活動報告があった。

今年度の読み聞かせは始まっており、年間32回を予定している。掲示は4月に1回活動し、協働センターへの和歌掲示も含め、年間22回の活動を予定している。お話メロディは、6月4日に第1回を催し、年間4回の活動を予定している。

その他連絡事項

北村教頭から、次回会議は、令和8年7月27日(月)13:30より、県居小音楽室で開催する旨の連絡があった。